

秋田県林業研究研修センター 要 覧

Akita Prefecture Forestry Research and Training Center



秋田県林業研究研修センターは、カーボンニュートラルの実現に向け、森林の二酸化炭素吸収効果に期待が高まる中で、本県の豊かで多様な森林資源の循環利用や、森林の公益的機能の発揮を通じ、持続可能な森林経営に資するための森林・林業に関する調査・研究、技術開発、研究成果の普及等を行っています。

平成27年度には、就業前の林業技術者養成機関としては、東北・北海道では初めてとなる「秋田県林業トップランナー養成研修（秋田林業大学校）」を開講し、秋田の林業を担う若い林業技術者の養成を行っています。

沿革

- 昭和23年 秋田県木材工業指導所を大館市に設置
- 昭和27年 林業部門を加え、秋田県林業試験場に改称
- 昭和39年 秋田県林木育種場を秋田市(旧雄和町)に設置
- 昭和52年 秋田県林業試験場と秋田県林木育種場を統合し、秋田県林業センターを秋田市(旧雄和町)に設置
- 平成 2年 バイオテクノロジーによる研究推進のため、秋田市(旧河辺町)に移転し、秋田県林業技術センターに改称
- 平成12年 森林生態系保全及び森林資源利用を総合的に推進するため、秋田県森林技術センターに改称
- 平成18年 農林水産系の公設試験研究機関を統合し、秋田県農林水産技術センター森林技術センターに改称
- 平成24年 秋田県農林水産技術センター廃止により、秋田県森林技術センターに改称
- 平成26年 林業の研修・普及及び人材育成を一体的に推進する研修普及指導室を新設し、秋田県林業研究研修センターに改称
- 平成27年 秋田県林業トップランナー養成研修(愛称：秋田林業大学校)開講
- 平成29年 機械実習棟設置

組織

所 長

総務企画室

総務企画班

予算・決算、財産管理、研究企画管理、研究成果の広報、技術移転

研修普及指導室

研 修 班

林業トップランナー養成研修の運営、林業技術者等人材育成

普及指導班

林業普及指導、林業普及指導員育成、関係団体指導

環 境 経 営 部

森林生態系保全、水土保全等森林の公益的機能の維持・増進に関わる技術開発

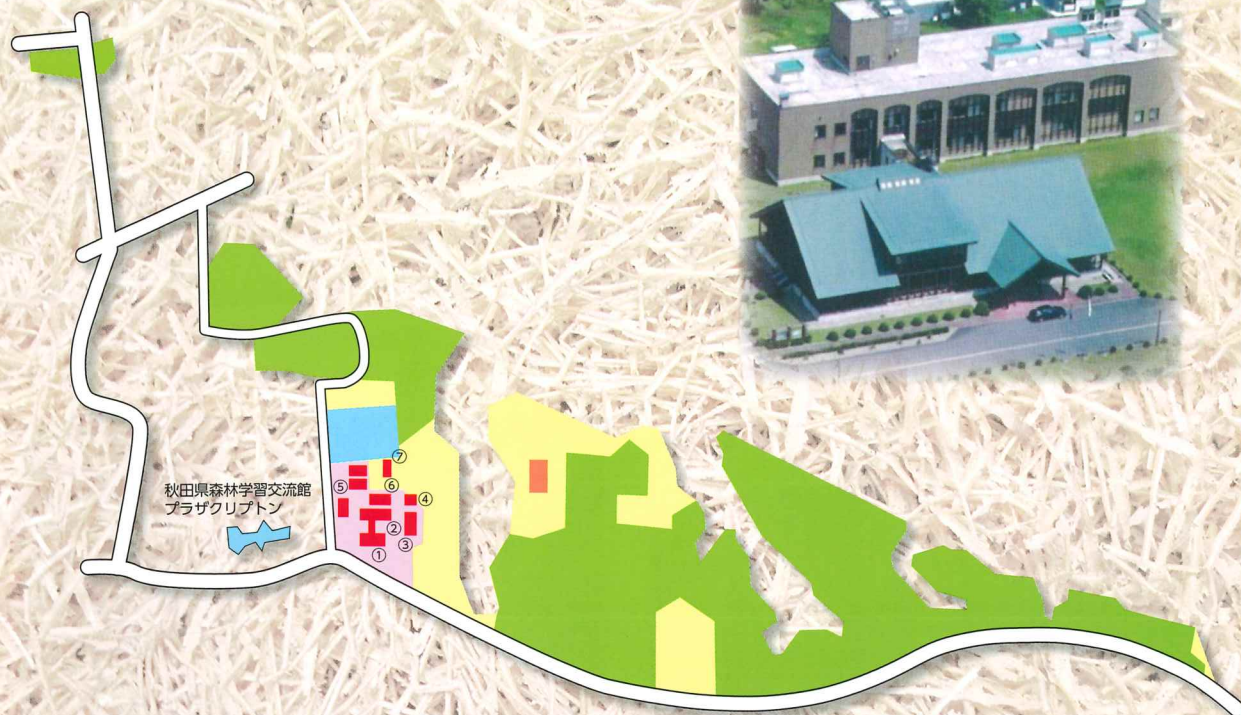
資 源 利 用 部

秋田スギ・抵抗性マツ等の育種、きのこの栽培技術開発



施設

構内図



敷地面積

■ 苗 畑	1.00ha	■ 育種用地(採種穂園)	24.18ha
■ 試験地、防風林等	31.14ha	■ 建物用地	2.18ha

主要建物



①管 理 棟 (木造2階建 773.58㎡)



②研究棟 (鉄筋コンクリート2階建 2,104.16㎡)



③ガラス温室 (鉄骨平屋建 230.00㎡)



④きのこ栽培実験棟 (鉄骨平屋建 98.60㎡)



⑤種子・作業棟 (木造平屋建 248.43㎡)



⑥実 習 棟 (木造平屋建 154.02㎡)



⑦機械実習棟 (木造平屋建 450.00㎡)

林業研究研修センター研究中長期計画（令和4年度～令和13年度）

持続可能な森林経営の実現に向けて「森林・林業の成長産業化に貢献する資源循環体制の確立」を

基本方針Ⅰ 持続可能な森林経営の実現に向けた技術の開発

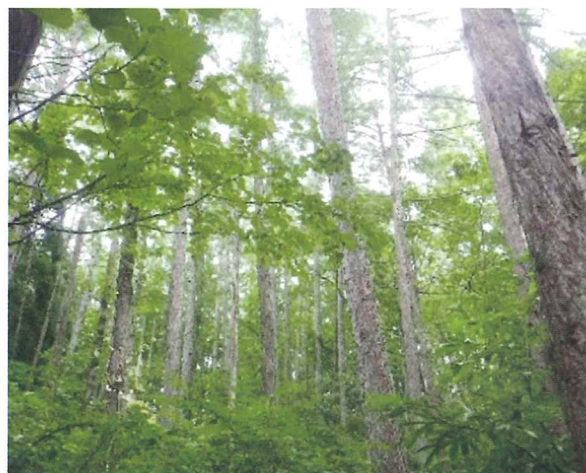


再造林促進のキーとなる低コスト造林に対応した新たな施業体系を確立するとともに、カラマツや広葉樹など多様な森林育成モデルを開発します。



新たなスギの低コスト施業体系の確立

低密度植栽試験地を造り、除伐の省略・間伐回数の削減等低コストな施業方法を調べています。



多雪地域に適応するカラマツ育成技術の開発

県内のカラマツ林の生育状況を調べ、生育適地や育成方法を明らかにします。

基本方針Ⅱ 自然環境と社会基盤を支える森林の保全と管理に向けた技術の開発



CO₂吸収、防災、水土保全等公益的機能を高度に発揮する森林育成手法を開発します。また、ニホンジカやナラ枯れ等病虫獣害の防除技術を開発します。



防災機能を高める海岸林造成技術の開発

津波に耐えられる海岸林を造成するために根系の調査を実施しています。



シカの個体数を制御する管理手法の開発

シカの定着地を予測・探索し、囲いわな等を用い、群れ単位の捕獲を試行しています。



ミッションとし、5つの基本方針により技術開発や林業の担い手となる人材の確保・育成を図ります。

基本方針Ⅲ 多様なニーズに応える林木品種の開発と普及 ▶

造林コストの削減に寄与する秋田版スギエリートツリーやマツ材線虫病に強い抵抗性を持つマツ品種を開発し、それらの種子を安定的に生産・供給します。



ミニチュア採種園からの
種子の採取

秋田版スギエリートツリーの開発

再造林を推進するため、初期成長や木材生産性に優れた次世代の秋田スギを開発します。

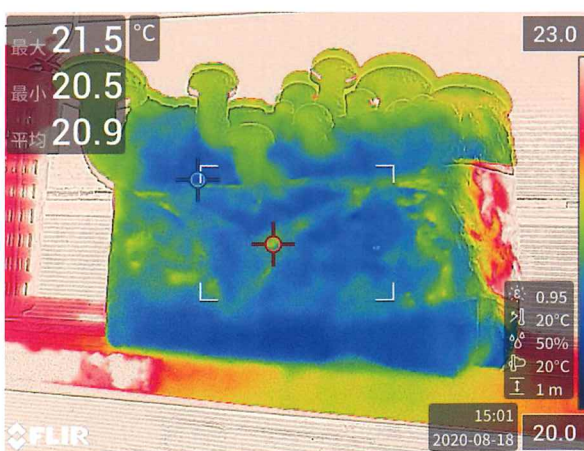


マツ材線虫病抵抗性品種の開発

海岸防災林の早期再生に向け、マツ材線虫病に強い抵抗性を持つクロマツを開発します。

基本方針Ⅳ 多様なニーズに対応できるきのこの新生産技術の開発 ▶

秋田の強みを生かす新たなきのこの開発、IoT技術を用いて高質、多収となる安定生産技術を確認するとともに新機能の発掘等に取り組みます。



シイタケのスマート栽培技術の開発

IOT や、各種センサーを活用し、菌床シイタケの安定生産に向けた技術開発を進めます。



省エネ栽培技術と新品種の開発

持続的なきのこ産地の形成に向け、多収量で高品質なきのこの栽培技術を確認します。

基本方針Ⅴ 林業のトップランナーを目指す担い手の確保・育成

秋田県林業トップランナー養成研修

◆今後、増加する木材生産に対応していくためには、林業機械による低コスト生産から木材販売・利用までマネジメントできる技術者が必要となっておりますが、本県の林業従事者は高齢化が進み、特に林業の将来を担う若い人材の不足が大きな課題となっております。

このため、平成27年度から林業トップランナー養成研修（秋田林業大学校）を開講し、民間と行政が一体となった「オール秋田」による指導体制で、秋田の林業を担う若い林業技術者を養成しています。

実践力重視の研修

取得する資格



- ＝ 1年次 ＝
- 伐木等の業務に係わる特別教育
 - 刈払機取扱作業安全教育
 - 小型車両系建設機械特別教育
 - 車両系建設機械運転技能講習
 - はい作業従事者安全教育

- ＝ 2年次 ＝
- 車両系木材伐出機械特別教育
 - 不整地運搬車運転技能講習
 - 玉掛技能講習
 - 小型移動式クレーン運転技能講習
 - 森林施業プランナー特別一次試験
 - 松くい虫専門調査員
 - 秋田県林業技術管理士

民間と行政が一体となった指導体制

秋田県林業トップランナー養成研修
秋田林業大学校
(秋田県林業研究研修センター)

運営支援
秋田県林業技術者養成協議会
◎林業・木材産業関係団体
◎国・県行政機関

研修指導
秋田林業大学校サポートチーム
◎林業・木材産業関係団体
◎機械メーカー



高性能林業機械と機械実習棟

研修カリキュラム

テーマ	科目	
I 森林・林業の知識と経営感覚の習得	(1) 林業基礎 (3) 森林経営	(2) 森林環境
II 森林の造成・生産・利用の技術習得	(1) 森林施業 (3) 路網開設 (5) 木材加工・流通	(2) 森林調査 (4) 素材生産 (6) 働安全衛生
III 資質を高めるスキルアップ研修	(1) インターンシップ研修 (3) 選択コース 【森林管理コース ・ 林業技術コース】	(2) 総合講座



高性能林業機械と機械実習棟

林業普及指導

一試験研究と連携した森林所有者や林業関係者等への普及指導一

◆林業普及指導は、ニーズに応じて開発された林業技術を現場に普及定着させるため、研修会の企画や普及冊子の作成等を行っています。また、関係者、研究、行政相互の情報共有、連携強化を図り、技術開発や普及を効率的に進めるコーディネーターとしての役割も担っています。

そのほか、市町村等の森林管理の支援、林業後継者育成講座の開催及び各種メディアを活用しての技術情報の提供を行っています。

実施内容

- 研究員と普及指導員が連携して開発した技術を普及
- 林業普及指導員全員・特技研修（林業普及指導員の資質向上のための研修）
- 市町村森林・林業整備支援研修（国有林と連携した森林総合監理士等による指導）
- 林業技術交換研修会開催（林研グループの育成、技術交流）
- 林業体験プログラム（中・高校生向け高性能林業機械体験講座）
- 普及冊子作成（研究成果の普及）等



林業技術交換研修会

QGIS研修



林業機械研修

林業普及指導員特技研修



林業体験プログラム(高性能林業機械操作体験)

スギの再造林を低コストで行うために



秋田県農林水産部 林業研究センター

森林管理入門

「初めて森林を引当る方」に贈る

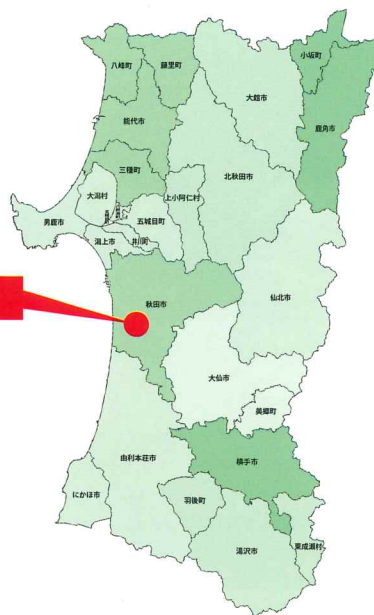


秋田県林業研究センター

普及冊子作成、刊行(県HPでも情報提供)



交通のご案内



飛行機／秋田空港より車で7分

自動車／秋田南I.C.より車で10分、秋田空港I.C.より車で5分

J R／秋田駅から車で40分、和田駅から車で10分

バス／イモール秋田から国際教養大学まで15分、和田駅前から国際教養大学まで15分

秋田県林業研究研修センター

〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字井戸尻台47-2

TEL.018-882-4511 FAX.018-882-4443

e-mail forest-c@pref.akita.lg.jp

<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/rinten>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。